

令和3年 知立市議会 9月定例会 企画文教委員会報告

開催日：令和3年9月21日（火）



委員構成【委員長】神谷定雄【副委員長】山田圭

【委員】杉山千春、山口義勝、稲垣達雄、小林昭弐、牛野北斗

令和3年 知立市議会 9月定例会

企画文教委員会、予算・決算委員会企画文教分科会で 審査した議案等

	案件	自由討議	討論
議案第48号	知立市個人情報保護条例の一部を改正する条例	なし	なし
議案第53号	令和3年度知立市一般会計補正予算（第7号）	なし	
議案第57号	令和3年度知立市一般会計補正予算（第8号）	なし	
認定第1号	令和2年度知立市一般会計歳入歳出決算認定について	なし	
認定第3号	令和2年度知立市土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	なし	

付託された陳情内容

陳情第 5号	公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情
陳情第 6号	住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情
陳情第 7号	地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情
陳情第 8号	消費税率5%への引き下げを求める意見書の提出を求める陳情
陳情第 9号	「1年単位の変形労働時間制」導入のための条例制定ではなく、教職員の長時間過密労働解消のための施策を求める陳情
陳情第 12号	私立高校生の父母負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために知立市独自の授業料助成制度の拡充を求める陳情書
陳情第 13号	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
陳情第 14号	ミャンマー国軍による自国民への弾圧・暴力の即刻停止を日本政府が働きかけるよう求める意見書を知立市議会から提出することを求める陳情書
陳情第 15号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書
陳情第 16号	県道298号線上「山本学園情報文化専門学校高等課程3号館南西横断歩道」に歩行者信号機設置を求める陳情書

①令和3年度知立市一般会計補正予算（第7号） 市制50周年記念事業について

【事業の目的・背景】市制施行50周年の節目にあたり、知立市の礎を築いてきた先人達の功績を称えるとともに、未来の知立市を築いていく次世代の育成に取り組み、市への愛着や誇りの醸成を図ることを目的。

成果及び今後の取り組み

令和元年度に1000枚作製した記念切手シートは令和3年5月末までで、823枚販売した。また、寄附金については、令和2年11月に目標としていた累計3000万円に到達した。一方、令和3年度に延期したちりゅう50祭と市民パレードについては新型コロナウイルス感染症の終息が見込めないことから、市制55周年を迎える令和7年度に再延期とした。

委員質問

事業費が2,180万円減額されているが、その中の市制50周年記念特別事業実行委員会委託料の内容は。

当局答弁

市制50周年記念事業である「ちりゅう50祭」の運営、実行費。内容は「ご当地キャラフェスティバル」や「パテオDEマルシェ」など、実行委員会で企画・計画した事業。

委員質問

目玉事業である市民パレードの今後については。

当局答弁

パレードについては、再度招致が必要となるが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によりどうなるか不明瞭な部分はある。中止となった自治体を優先したいとの話をいただいている。



令和3年度知立市一般会計補正予算（第7号）

【GIGAスクール構想】1人1台の端末と高速通信環境の整備をベースとして、Society 5.0の時代を生きる子どもたちのために「個別最適化され、創造性を育む教育」を実現させる施策

委員質問

小学校情報機器管理事業のタブレットの持ち帰りについて、保護者にアンケートを取った内容は。

当局答弁

保護者にWi-Fi環境の調査を行った。約4000世帯のうちの3%程度の約120世帯がWi-Fi環境がないという調査結果になった。これに基づき、Wi-Fiルーターと通信費用の補正予算を計上した。

委員質問

タブレットの持ち帰り学習の試行は、いつから始めるか。

当局答弁

10月に持ち帰り、試行する。本格的には、1月以降を予定している。

令和2年度知立市一般会計歳入歳出決算認定

【SDGsとは】2015年に国連が全会一致で採択した「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。「貧困をなくす」「気候変動に具体的な対策を」「産業と技術革新の基盤をつくる」といった17項目と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されている。

委員質問

教育関係のSDGsに関する情報など、SDGs関連の支援等、情報収集について、現在所管している企画部で行うのか、それともプロジェクトチームを結成するのか。その体制については。

当局答弁

SDGs未来都市に認定され、受けられる支援については、全庁的な取り組みの中で連携し実施したい。

委員質問

SDGs啓発用駐車場看板、駅前アーチ看板の内容は。

当局答弁

駐車場看板は、市役所の駐車場にある三面看板の一面に張り付けるもの。また、駅前アーチ看板は、駅前広場にあるアーチ状の看板。

令和2年度知立市一般会計歳入歳出決算認定 ふるさと応援寄附金推進事業

【目的及び成果】知立市を愛し、応援しようとする個人から広く知立市に対する寄附を募ることで、財源確保が見込まれるとともに、寄付者に対して地元特産品等を贈呈することにより、地元産業の振興に寄与するもの。令和2年度のふるさと応援寄附金の額は約7000万円で、目標額である6000万円を達成することができた。

委員質問

碧南市では令和2年度は29億6千万円余、今年度は40億円を目指しているとの報道もある。必要経費がおおむね50%とすると、碧南市では13~14億円くらいの歳入が生じていることになる。それでもさらに力を入れていくということなので、知立市でももっとやっていくべきではないか？

当局答弁

ふるさと納税による寄附金は、基準財政収入額に収入として反映されない。知立市でもさらなる取組を検討したい。

令和2年度知立市一般会計歳入歳出決算認定 市史編さん事業

【事業の目的】地域に伝わる伝統や文化等を記録・保存し、後世へ引き継ぐとともに広く周知することで市民の地域に対する理解を深め、過去と現在、未来を結びつけ、これからの知立市のまちづくりに役立てる。

委員質問

市史編さん事業の不用額217万1200円について。

当局答弁

主な理由として、役務費の執筆翻訳料が45万円ほど。使用料及び賃借料のうち、著作権の使用料が41万円ほどであった。筆耕翻訳料について、職員が執筆した部分は筆耕料が発生しない。著作権等使用料についても、市史が完成状態になるまで掲載する写真や絵図が確定できず、そのような状態から不用額となった。

委員質問

デジタルデータ化が令和2年度には20,000コマ分行われており、令和3年度にも予算がついている。これについての考えは。

当局答弁

古文書等データ化について。市史で集めた資料が多くある。寄贈・寄託をされたもの。これらは年代や大きさ、内容についての目録を作り、資料自体を撮影して保存する。紙などは劣化してしまうが、デジタルデータ化することで、ずっと後世に残し保存活用ができる。将来的には公開することも考えながら進めている。

委員質問

現在の市史は日本語版のみであるが、多言語版のものは作成できないか。デジタル化したうえで（多言語版を）作り上げる考えは。

当局答弁

現在の市史は本のみで、デジタル版はない。外国人向けの多言語版については今のところ予定していない。

【陳情第16号】県道298号線上「山本学園情報文化専門学校高等課程3号館南西横断歩道」に歩行者信号機設置を求める陳情

令和3年8月6日に開催された「高校生議会」において、テーマとなった「通学路の危険な交差点に信号機設置を」ということで、知立市議会に山本学園情報文化専門学校高等課程、生徒会会長佐々木瞭多さん、副会長近藤希海さん、他から「山本学園情報文化専門学校高等課程3号館南西横断歩道」に歩行者信号機設置を求める陳情書が提出された。

賛成意見

高校生議会で取り上げたテーマであり、陳情書にある横断歩道は、児童・生徒の通学路になっているとともに、弘法さんで市外から訪れる方も多く利用している。陳情者が関係機関に調査したところ、事故が発生していて危険であり、また、地元の方との交流の中で、信号機設置を望んでいて安全確保は必須。

挙手全員で採択すべきものと決定





ご清聴ありがとうございました。

知立市議会企画文教委員会 委員一同

